

## 平成26年度 第3回新潟労働局公共調達監視委員会の審議概要について

第3回新潟労働局公共調達監視委員会が、平成27年1月29日に開催されましたので、審議概要についてお知らせします。

(参考)新潟労働局公共調達監視委員会は、「随意契約の適正化の一層の推進について」(平成19年11月2日公共調達の適正化に関する関係省庁連絡会議)の趣旨を踏まえ、工事及び物品・役務等の競争入札案件並びに随意契約案件を第三者機関において審議することにより、新潟労働局が締結する契約が適正に行われるよう監視するため、平成19年12月25日に設置されたものです。

### 〔審議日程等〕

〈日 時〉	平成27年1月29日 9:30～	
〈会 場〉	新潟労働局 2階会議室	
〈委 員〉	委員長 小林 大造	小林経理事務所(公認会計士)
	委員 村山 六郎	村山六郎法律事務所(弁護士)
	委員 大串 葉子	新潟大学経済学部(大学准教授)
〈事務局〉	新潟労働局総務部総務課	
〈審査対象期間〉	平成26年8月1日～26年11月30日契約締結分	

### 〔審議概要〕

#### 1 平成26年8月1日～平成26年11月30日の契約分に係る審議

(事務局) 平成26年8月1日から同年11月30日までの期間において締結した契約は、予定価格が250万円を超える「公共工事」はなかった。予定価格が100万円を超える「物品・役務等」の契約は、競争入札・随意契約合わせて5件あった。

本日は、この5件について審議をお願いする。

なお、1月8日に開催された公共調達審査会での審査結果は、5件とも特に問題なしであった。

主な審議内容

〔競争入札〕

#### ①「平成26年度下半期分 再就職支援セミナー開催・運営委託」について

(委員) 各セミナーの定員数に対して充足するほど、活況なのか。

(事務局) 詳細な結果、数字は持ち合わせておりませんが、平成26年12月の基本コースでは定員840名に対して667名の参加があったと聞いており、概ね充足していると思います。

(委員) セミナー参加者の就職率はわかるのか。

(事務局) 個人情報の関係もあり、そういった統計は取っておりません。その結果について、当然、本省は政策評価を行うことになろうかと思えます。

(委員) イギリスなどでは、こうした事業では、実際就職することができた件数に応じて、業者に報酬を支払うなど、インセンティブ(報酬など誘因)を持たせるとより効果があるようだ。そういった制度があれば良いと思う。調達審査には関係ないが。

〔随意契約〕

#### ②「平成26年度『就職・自立促進講習』委託費」について

(委員) 2業者参加の企画競争だが、どこで差がついたのか。

(事務局) 企画書評価委員会での評価結果は、総合点数210点中139点と、落札業者143点で4点ほどの差でしたが、委員の方で12項目で2項目落札業者に満点をつけられた方がいたり、内容的に優れていたものと思われれます。

(委員) この事業は毎年やっているものか。

(事務局) 今年度から始まった事業です。

③「平成26年度中長期的なキャリア形成を支援するためのキャリア・コンサルティング等の実施委託費」について

(委員) 企画競争1社だけの参加だが、この会社はこの問題を特化した会社なのか。

(事務局) 再就職支援等の人材開発事業の他、経営コンサルティング事業を行っており、再就職支援に関する有資格者を社内に抱えております。

(委員) 有資格者とは、どんな資格か。

(事務局) 仕様書にキャリア・コンサルティング技能士又は標準レベルのキャリア・コンサルタント(別紙1参照)としてあります。

(委員) この別紙をみるとほとんど、民間の事業者が認定している資格のようだ。また、国家検定もあると聞いている。

(事務局) 国家検定は技能士の試験の事だと思いますが、数年前から行われています。

(委員) キャリア・コンサルタントの有資格者はどのくらいいるのか。

(事務局) 良くわかりませんが、多分、何万人の規模だと思います。公務員にもいます。近年、本省からハローワークの窓口職員にもキャリア・コンサルタントの資格が必要と言われていました。

(委員) 資格者が増えないと、入札に参加する業者も増えないので、現在の民間の試験を利用した資格条件に問題はないと思う。

### 3 審議結果

今回の審議案件については、特に問題なしと考える。